

今月の 新刊紹介



医療・ケア従事者のための 哲学・倫理学・死生学

著：清水哲郎
発行：医学書院
定価：2860 円（本体 2600 円＋税 10%）
B 5 判 284 ページ

実践家や学生と対話を重ねてきた著者による医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学の入門書。臨床では常に状況に適切に把握し、的確に実行する力が求められる。自らの実践を振り返り、ケアする姿勢と専門的知識や個別状況を把握し整理するために。



外国人看護助手 テキストブック

著：中友美
発行：幻冬舎メディアコンサルティング
定価：1430 円（本体 1300 円＋税 10%）
A 5 判 160 ページ

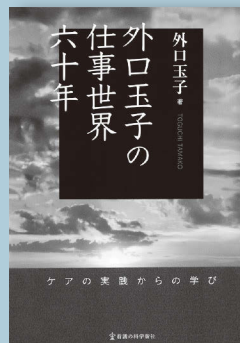
日本の病院で外国人が「看護助手」として働くための指南書。外国人看護助手が段階を経て、実践可能な業務を習得し、徐々にステップアップしていく構成。看護助手としてのルールを覚え、間接的な介助から直接的な介助について段階的に学ぶことができる。



腎移植ケアガイド

監修：一般社団法人 日本腎不全看護学会
編集：CKD 委員会腎移植ケアガイドワーキンググループ
発行：医学書院
定価：4400 円（本体 4000 円＋税 10%）
B 5 判 200 ページ

日本腎不全看護学会の監修のもと、腎移植、腎疾患看護の専門家や研究者によって編集された腎移植ケアのバイブル。総論で腎移植の基礎的な医学知識、看護を解説。各論では臨床的クエスションのレビューを行い、エビデンスに基づく臨床での実践を紹介。



外口玉子の仕事世界 六十年

著：外口玉子
発行：看護の科学新社
定価：3850 円（本体 3500 円＋税 10%）
A 5 判 360 ページ

戦後 60 年にわたり、わが国の看護の歴史と共に生きた著者（本年 3 月逝去）。自身の実践を振り返る書き下ろしと論考や発言には、病む人もケアの場を成り立たせる主体と考え、「場」づくりと人のつながりを通してケアの担い手として居るという理念を感じる。



緩和ケアレジデント マニュアル 第 2 版

監修：森田達也、木澤義之
編集：西智弘、松本慎久、森雅紀、山口崇
発行：医学書院
定価：3960 円（本体 3600 円＋税 10%）
B 6 変判 536 ページ

次々に起こる症状への対応、予後予測、ACP、家族のケア、リハビリテーション……、最期まで患者の望む時間を提供するために、何をするのか。病棟でも外来でも在宅でも、がんでも非がん疾患でも、全ての患者の苦痛緩和を目指す医療スタッフ必携書の改訂版！



現場でよくある課題への処方箋 人と組織の行動科学

著：伊達洋駆
発行：すばる舎
定価：3520 円（本体 3200 円＋税 10%）
A 5 判 352 ページ

「キャリア自律を促したい」「よりよい組織文化をつくりたい」など、人や組織に関するよくある 44 の課題について解説。課題を読み解くための「組織行動論」の研究知見を紹介し、それに基づく解決策や、その副作用とリスクヘッジについて分かりやすく解説した 1 冊。

看護管理に
効く
1 冊